

# プログラム

開会式 8月29日(土) 9:20~ 9:30 A会場

総会 8月29日(土) 12:50~13:35 A会場

シンポジウム 8月29日(土) 13:45~15:05 A会場

司会：森 浩一（国立障害者リハビリテーションセンター研究所）

## 「吃音の脳研究の最前線」

シンポジスト：「近赤外分光法による吃音の発話における脳血液応答」

小倉 淳（国立精神・神経医療研究センター）

## 「事象関連電位を用いた吃音者の言語処理特性」

村瀬 忍（岐阜大学教育学部）

## 「機能的磁気共鳴画像法を用いた吃音話者の神経活動の特徴」

豊村 暁（群馬大学大学院保健学研究科）

特別講演 8月30日(日) 11:10~12:10 A会場

座長：長澤 泰子（NPO 法人こどもの発達療育研究所）

## 「吃音臨床の温故知新」

川合 紀宗（広島大学大学院教育学研究科・国際協力研究科）

教育講演 8月30日(日) 13:10~14:10 A会場

座長：小林 宏明（金沢大学人間社会研究域学校教育系）

## 「吃音の青年期以降に付随する精神疾患—社交不安障害やうつ病など—」

金 樹英（国立障害者リハビリテーションセンター病院）

**吃音ガイドラインセミナー**

8月29日(土) 15:20~17:20 A会場

司会：堅田 利明 (関西外国語大学)

**セルフヘルプグループセミナー**

8月29日(土) 15:20~17:20 B会場

**「体験談のやり取りの方法～体験談の聞き方・話し方を学ぶ～」**

司会：崎原 秀樹 (鹿児島国際大学福祉社会学部)

**大会公開企画**

8月30日(日) 14:30~16:10 B会場

**「親の語り、当事者の語り、グループファシリテートの意義と方法～出会いと分かち合い～」**

司会：堅田 利明 (関西外国語大学)

中村 勝則 (元東京都西東京市立保谷小学校)

杉原 あきら (西三国小学校)

安井 美鈴 (大阪人間科学大学)

**閉会式**

8月30日(日) 16:10~16:20 A会場

**口頭発表「当事者への指導・支援」**

8月29日(土) 9:30~10:30 A会場

座長：都筑 澄夫(自白大学保健医療学部言語聴覚学科)

- 1-A-01 統合的アプローチにより吃音症状と感情・態度面が改善した学齢期吃音の1例  
森山 暢彦(東久留米市立第六小学校ことばの教室・きこえの教室)
- 1-A-02 クラッタリングの評価と指導介入の現状-吃音指導の経験がある臨床家を対象として-  
宮本 昌子(筑波大学人間系)
- 1-A-03 社交不安障害の重症度尺度(LSAS-J)と吃音支援の検討  
野口 敦子(九州大学病院耳鼻咽喉科)

**口頭発表「吃音臨床1」**

8月29日(土) 10:40~12:00 A会場

座長：久保田 功(近畿大学医学部附属病院)

- 1-A-04 質問紙による吃音のある成人の類型化  
酒井 奈緒美(国立障害者リハビリテーションセンター研究所)
- 1-A-05 吃音に対する発語指導の意義と課題 その2— 吃音と発音の誤りを主訴に来室した  
年少男子への発語指導から —  
梅村 正俊(山形言語臨床教育相談室)
- 1-A-06 吃音のある中・高校生に対しての意見書(診断書)の検討  
菊池 良和(九州大学病院耳鼻咽喉科)
- 1-A-07 吃音のある中・高校生に対するアプローチの検討  
山口 優実(九州大学病院耳鼻咽喉科)

**口頭発表「吃音への対処・対応」**

8月29日(土) 9:30~10:30 B会場

座長：吉澤 健太郎(北里大学東病院リハビリテーション部)

- 1-B-01 身体の姿勢を正すことから考える、吃音対処について  
後藤 哲也(株式会社エミック)
- 1-B-02 「当事者の力」～どもる仲間を知って、いつの間にかだんだんと良くなりました  
岩崎 健(NPO 法人よこはま言友会)
- 1-B-03 新人言語聴覚士が吃音「当事者」のためにできること  
横井 秀明(名古屋きつおんサポート)

**口頭発表「吃音のある人の心理」**

8月29日(土) 10:40~12:00 B会場

座長：坂田 善政 (国立障害者リハビリテーションセンター学院)

## 1-B-04 成人吃音者の健康関連 QOL とコーピング行動

村瀬 忍 (岐阜大学教育学部)

## 1-B-05 顕著な症状の改善が吃音者に与える影響について

羽佐田 竜二 (医療法人赫和会杉石病院)

## 1-B-06 成人吃音者の就労における心理的影響と周囲の配慮に関する実態調査

飯村 大智 (日本聴能言語福祉学院聴能言語学科/NPO 法人全国言友会連絡協議会)

## 1-B-07 思春期における吃音者と学校文化

橋本 雄太 (立命館大学大学院先端総合学術研究科)

**ポスター発表「吃音支援・経験・視点」**

8月29日(土) 9:30~10:30 ポスター会場

## 1-P-01 当センターにおける吃音相談者について (初診時の年齢別にみた傾向)

徳本 郁恵 (北九州市立障害福祉センター)

## 1-P-02 利き手と利き耳の不一致と DAF 使用時の音読との関連の検討

矢野 真依子 (広島大学大学院教育学研究科)

## 1-P-03 吃音者は医学部教授として不適格者か？

中尾 篤典 (兵庫医科大学救急災害医学教授)

**ポスター発表「吃音指導・支援 (小児)」**

8月29日(土) 10:40~11:40 ポスター会場

## 1-P-04 リズム効果法による流暢性形成

万年 康男 (長野県稲荷山養護学校)

## 1-P-05 ゆうゆうゆう会：茨城吃音のある子ども達支援の会の活動報告

千本 恵子 (筑波大学附属病院)

## 1-P-06 吃音のある児童への多面的・包括的なアプローチ—CALMS モデルによる評価を基にして—

川合 紀宗 (広島大学大学院教育学研究科・国際協力研究科)

**口頭発表「当事者とそこご家族 / セルフヘルプグループ」 8月30日(日) 9:20~11:00 A会場**

座長：齊藤 圭佑 (NPO 法人全国言友会連絡協議会)

2-A-01 わが子と吃音をオープンにすることで、気持ちが楽になった母親の報告

稲垣 朋美 (愛知県)

2-A-02 わが子の吃音と、周囲に吃音啓発を行った母親の記録

吉田 政美 (熊本県)

2-A-03 「奄美きつおんカフェ」の活動報告

須藤 簡子 (奄美きつおんカフェ)

2-A-04 セルフヘルプグループが15年間実行している吃音改善トレーニングの実際

市川 恒雄 (NPO 法人よこはま言友会)

2-A-05 当事者団体の社会的支援の取り組み

松尾 久憲 (NPO 法人全国言友会連絡協議会)

**口頭発表「原因論探求 / 発話訓練」**

8月30日(日) 14:30~16:10 A会場

座長：土屋 美智子 (日本聴能言語福祉学院)

2-A-06 吃音症のある児童の兄弟に関する検討

小島 さほり (千葉市児童相談所)

2-A-07 吃音のある子どものきょうだいの意識に関する検討

見上 昌睦 (福岡教育大学特別支援教育講座)

2-A-08 聴覚フィードバックのピッチ変調順応による吃音者の発話運動制御機構の検討

飯村 大智 (日本聴能言語福祉学院聴能言語学科)

2-A-09 発話速度の視覚的フィードバックを用いた調整訓練の汎化

越智 景子 (国立障害者リハビリテーションセンター研究所)

2-A-10 RASS (自然で無意識な発話への溯及的アプローチ) により進展段階4層から2層に改善した成人吃音者の語りから改善の要因を検証

池田 泰子 (岩手大学/慶應義塾大学)

**口頭発表「吃音臨床2」**

8月30日(日) 9:20~11:00 B会場

座長：原 由紀 (北里大学医療衛生学部言語聴覚療法学専攻)

- 2-B-01 離島地区における3歳児の吃音有症率調査について  
島田 美智子 (札幌医学技術福祉歯科専門学校)
- 2-B-02 吃音と判断する閾値と有症率の関係についての考察  
豊村 暁 (群馬大学大学院保健学研究科)
- 2-B-03 非流暢性の頻度および質における場面間差 – 吃音幼児の発話サンプルによる検討 –  
石田 隼一郎 (埼玉県立小児医療センター)
- 2-B-04 発達障害を伴う吃音幼児の指導経過について  
斉藤 公人 (千葉市療育センター療育相談所)
- 2-B-05 リッカム・プログラム導入後に改善した学齢期吃音の1例  
坂田 善政 (国立障害者リハビリテーションセンター学院)

**ポスター発表「吃音指導・支援(成人)」**

8月30日(日) 9:20~10:20 ポスター会場

- 2-P-01 成人吃音 1 症例における治療期毎の流暢性形成法と認知行動療法の有用性の変化とその内省理由  
北條 具仁 (国立障害者リハビリテーションセンター病院)
- 2-P-02 “名乗れない”ことに悩む成人社交不安症(SAD)患者に対するビデオフィードバック及び軟起声による認知行動的介入を試みた1症例  
岩山 孝幸  
(埼玉医科大学総合医療センターメンタルクリニック/立教大学大学院現代心理学研究科臨床心理学専攻)
- 2-P-03 NPO法人吃音とともに就労を支援する会(どーもわーく)の活動報告  
竹内 俊充 (NPO法人吃音とともに就労を支援する会/医療法人優寿会)